



第 161 号

2020 年 11 月 5 日発行

T E L 0193 - 42 - 2111

F A X 0193 - 42 - 3855

発行 大槌町議会

議会報



実りの秋、みんな元気に過ごしています！
(大ヶ口保育園)



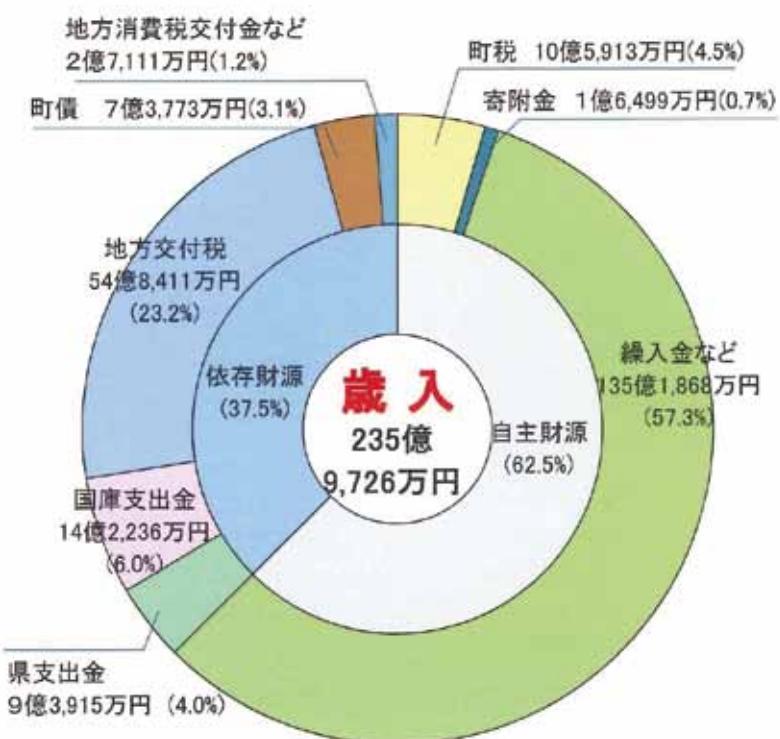
主な内容

- 決算特別委員会の内容 • • • • 2~3
- 審議した議案 • • • • • • • 4~6
- 一般質問の項目 • • • • • • 7
- 一般質問の内容 • • • • • • 8~15

令和元年度決算を審議

復興費 前年度より93億円減 事業が収束

《一般会計決算の内訳》

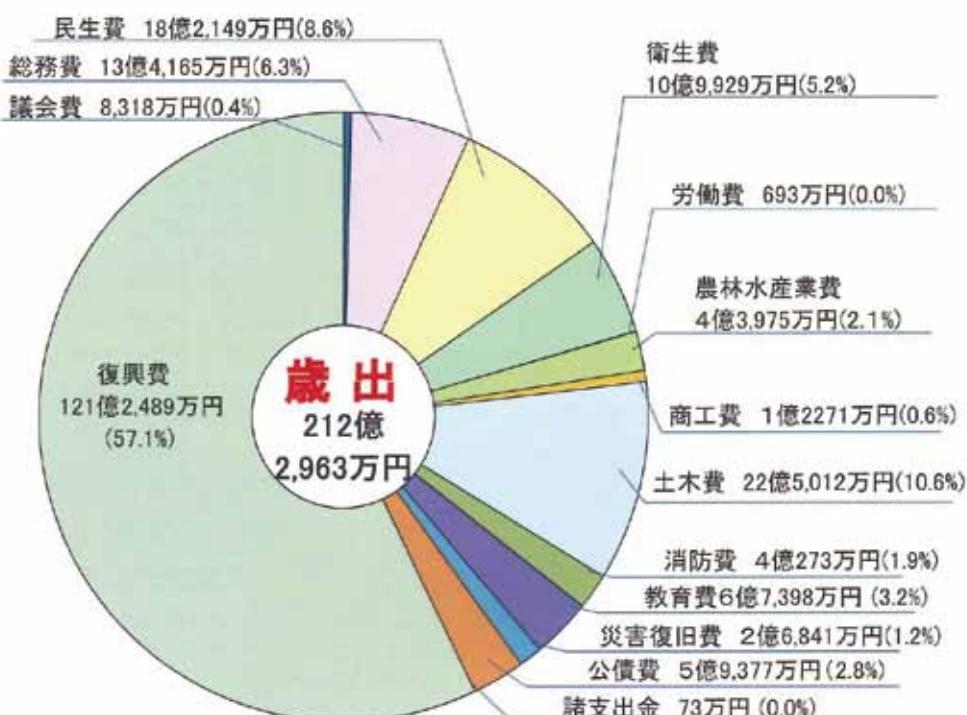


◇ 決算特別委員会 — *

決算特別委員会は、9月11日から16日までの日程で開催されました。

委員長には金崎悟朗議員、副委員長には菊池忠彦議員を選出し、本会議で付託された令和元年度一般会計歳入歳出決算など7会計について審査しました。

決算特別委員会での審査終了後、本会議を再開し、元年度の一般会計歳入歳出決算など7会計の決算は、いずれも原案のとおり認定となりました。以下、質疑の一部を紹介します。



決算特別委員会の内容

歳 入

◎質疑：昨年度と比較して定住促進住宅の使用料が200万円ほど減であるが、入居率が低くなり空き部屋が生じているのか、減収の原因を伺う。

◎答弁：町外に引っ越しした方、町内に家を建てたり、町内の民間アパートに引っ越した方がおり、現在5戸空室がある。

総務費

◎質疑：大槌高校魅力化推進事業委託料について、取組の進捗状況、今後どの程度の新たな入学生を見込めるのか。

◎質疑：大槌町出会い化推進事業委託料について、取組の進捗状況、今後どの程度の新たな入学生を見込めるのか。

◎答弁：東京で1月に一週間、ブースを設けて、当町の紹介と移住定住希望の方の相談を受けた。2月と3月にも実施する予定だったがコロナ騒動により事業を途中で断念せざるを得なかつたという状況。

民生費

◎質疑：大槌町出会い応援事業補助金の中身と成果について伺う。

◎質疑：大槌町出会い応援事業補助金の中身と成果について伺う。

強化事業については岩手県の補助金が入っている「宿舎の借り上げ事業」も併せて検討したいと考えている。

衛生費

◎質疑：資源回収協力団体報償費について、実施団体数は、また、資源回収の種類とリサイクル率は。

◎質疑：花輪田自治会の1団体となっている。

◎質疑：クマの捕獲頭数と捕獲のあり方をどうのようと考えているか。

◎質疑：元村の第5分団第2部は整備が必要と考えており、建設場所や時期について、工事の進捗率と完了年度がいつ頃なのか伺う。

被害額としては950万円ほど。今後の展開としては、効果がある部分には電気牧柵を配布していく。ハンターの若返りを図り、認知度を上げるよう啓蒙活動に取り組んでいく。

消防費

◎質疑：小鎌金沢地区の消防団施設整備の時期を尋ねる。

◎質疑：郷土財活用湧水エリア整備工事施工監理他補助業務委託料について、工事の進捗率と完了年度がいつ頃なのか伺う。

復興費

◎質疑：現在の工事の進捗率は、およそ65%ぐらい。完了の時期は今年の12月末を予定している。

◎質疑：おおつち移住定住プロモーション推進事業委託金31万4267円。この予算をかけてどのような成果が得たのか。

◎質疑：今までの成果を踏まえて、次年度以降継続するかどうかについて検討していく。

という実績である。

わってくるため、関係団体と協力し防止を図っていく。

◎質疑：どのような方が防災士の研修を受講し、何名が防災士として育成できているのか尋ねる。

◎質疑：復幸きらり商店街跡地簡易経営診断業務委託の調査結果は。

◎質疑：大槌インターに隣接していく立地的には優れているという分析結果がでている。

◎質疑：昨年度からスタートした事業であり、5名が受講。今年度は1名が受講の予定である。県のスキームで各町内会から推薦している。県のスキームで各町内会から推薦している。ただ、その中で防災士の育成図つてている。

どを聞き、協議検討していく。

◎質疑：どのような方が防災士の研修を受講し、何名が防災士として育成できているのか尋ねる。

◎質疑：今までの成果を踏まえて、次年度以降継続するかどうかについて検討していく。

◎質疑：今までの成果を踏まえて、次年度以降継続するかどうかについて検討していく。

農林水産業費

◎質疑：どの実績である。

団体と協力し防止をしていく。

令和2年9月定例会

一般質問に8議員が登壇

令和2年9月定例会は、9月3日から9月17日までの15日間の会期で開催されました。本期定例会には、健全化判断比率の状況の報告、大槌町地域包括支援センター運営協議会設置条例の制定、大槌町老人ホーム入所判定委員会設置条例の制定、工事請負契約の締結、2年度の各会計の補正予算及び元年度の各会計の歳入歳出決算等の認定など、報告2件、議案21件、認定7件、発議案2件が提案されました。

また、一般質問には8議員が登壇し、町当局の姿勢や施策をただしまし

◇議案一*

《委員の任命の同意》

◎大槌町教育委員会の委員の任命に関し
同意を求める事…
大萱生都氏を任命することに同意を求めたものであります。

《条例の改正》

《条例の改正》

条例の制定：新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するため、一般職員の職員に対し、特殊勤務手当を支給するための条例整備を図るものであります。

（全員賛成・原案可決）

するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎令和2年度大槌町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）を定めること：診療報酬支払保険者負担金などにより補正し、国民健康保険特別会計歳入歳出予算に1億9804万8千円を増額し、予算の総額を137億4758万6千円にするものであります。（賛成多数・原案可決）

（全員賛成・原案可決）

◎令和2年度大槌町
水道事業会計補正予
算（第1号）を定める
こと

（全員賛成・原案可決）

◎令和2年度大槌町
下水道事業会計補正
予算（第1号）を定め
ること

（全員賛成・原案可決）

（契約の締結）

◎工事請負契約の締
結：普通河川生井沢

・議会活性化特別委員会
11日・決算特別委員会（～16日）
22日・大槌稻荷神社例大祭
26日・大槌町戦没者追悼式

10月

1日・定住自立圏共生ビジョン
懇談会（釜石市）

2日・議会運営委員会

・岩手県町村議会議長会
・定例理事会（盛岡市）
・岩手県町村議會議長会
・臨時会（盛岡市）

・岩手県町村議会議長会
・政務調査会（盛岡市）

7日・令和2年第6回臨時会
・第8回全員協議会

・議会報編集特別委員会

し、産業集積地として活用するため、所要の改正をしようとするものです。

額し、予算の総額を16億7919万3千円とするものです。
(全員賛成・原案可決)

議会の動き (8月)

審議した議案

川河川改修工事において、指名競争入札により、有限会社小松組と
9680万円で工事請負契約を締結するものです。

(全員賛成・原案可決)

◎工事請負契約の締結：町道小鎌線道路改良（橋梁上部工）工事において、追加工事などにより、請負額を1839万5300円増額し、事業費総額を2億5709万5300円とするものです。

◎財産の処分：東日本大震災災津波により建設した大槌第12地割の災害公営住宅の土地及び建物を、東日本大震災復興特別区域法に基づき、1234万8千円で処分するものです（全員賛成・原案可決）

◎町道の路線認定及 《その他》

（全員賛成・原案可決）
び廢止

◆認定一*

- ②国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- ③下水道事業特別会計歳入歳出決算
- ④漁業集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算
- ⑤介護保険特別会計歳入歳出決算
- ⑥後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- ⑦水道事業会計決算

（少人数学級を実現する岩手の会 代表 田代高章）

◇ 請願一*

◎新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出：新型コロナウイルス感染症の影響により地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策

◎健全化判断比率の
状況の報告：令和元
年度決算は各会計と
も赤字及び資金不足
ではなく、実質赤字比率
連結実質赤字比率、將
來負担比率は生じて
いません。実質公債
費比率は12・2%です

◎緊急経済対策に消費税率5%への引き下げを求める意見書の提出を求める陳情(岩手県商工団体連合会 会長 関沢 浩)

◇報告一*

◇発議案――*

◎「少人数学級」の実現を求める意見書の提出：「安全・安心でゆきとどいた教育実

など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政はかつてない厳しい状況になることが予想されることから、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、地方税財源の確保を強く求めるものであります。

30日	第9回全員協議会	工事安全祈願祭
29日	(花巻市)	功労者表彰審査委員会
28日	道づくりを考える大会	令和2年度大槌町自治組合定例会(釜石市)
27日	岩手県沿岸知的障害児	施設組合議会定例会(宮古市)
26日	・釜石大槌地区行政事務組合定例会(釜石市)	16日・大槌町保健センター建設

定例会議員出欠表

議席番号	議員氏名	9月定例会		第4回臨時会		第5回臨時会	
		9/3～9/17		7/9		8/7	
		出席	欠席	出席	欠席	出席	欠席
1	菊池 忠彦	5	0	1	0	1	0
2	臼澤 良一	5	0	1	0	1	0
3	佐々木慶一	5	0	1	0	1	0
5	澤山美恵子	5	0	1	0	1	0
6	阿部 三平	5	0	1	0	1	0
7	東梅 守	5	0	1	0	1	0
8	阿部 俊作	5	0	1	0	1	0
9	東梅 康悦	5	0	1	0	1	0
10	及川 伸	0	5	0	1	0	1
11	金崎 悟朗	5	0	1	0	1	0
12	阿部 義正	5	0	1	0	1	0
13	芳賀 潤	5	0	1	0	1	0
14	小松 則明	5	0	1	0	1	0

第4回臨時会

令和2年第4回臨時会は、7月9日に開催されました。

◇議案一*

◎契約の締結

◎工事請負契約の締結

◎工事請負契約の締結
◎大槌町斎場建設工事において、一般競争入札により、株式会社佐々木組と6億4680万円で工事請負契約を締結するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎契約の締結

◎工事請負契約の締結

◎工事請負契約の締結
◎大槌町斎場建設工事において、一般競争入札により、株式会社佐々木組と6億4680万円で工事請負契約を締結するものです。
(全員賛成・原案可決)

（人事）

◎大槌町副町長の選任に関し同意を求めること：北田竹美氏を選任することに同意を求めたものです。

北田氏は、平成26年に大槌町役場に入庁後、総合政策部総合政策課復興支援専門官、教育文化活動交流施設所長、震災伝承推進室長を務めました。

(全員賛成・原案同意)

建設と6242万1780円で工事請負契約を締結するものです。

(全員賛成・原案可決)

（予算）

◎令和2年度大槌町一般会計補正予算（第3号）を定めること：

◎令和2年度大槌町一般会計補正予算（第3号）を定めること：新型コロナウイルス感染症対応地方創生支援金などにより補正し、一般会計歳入歳出予算に、2億4千10万2千円を増額し、予算の総額を13億4953万8千円とするものです。
(全員賛成・原案可決)

第5回臨時会

令和2年第5回臨時会は、8月7日に開催されました。

◎工事請負契約の締結

◎工事請負契約の締結
◎大槌町No.12地に区結：大槌町No.12地に区結
おり、株式会社八幡建設により、株式会社八幡建設に区結するものです。
(全員賛成・原案可決)



町議会を傍聴してみませんか

町議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回、役場3階の議場で開かれます。

町で今何が課題となっているかなど、議場での議員の活動を実際に見て、知っていたたく機会です。傍聴の手続きは簡単ですので、ぜひ傍聴にいらしてください。

また、定例会の様子は「おおチャンネル」でも視聴いただけます。



●12月定例会は12月4日（金）開会予定です
(予定は変更される場合があります)

9月定例会一般質問の項目

1 澤山美恵子議員
P8

- ①新型コロナの対策事業について
- ②新型コロナ禍での防災対応について
- ③産業振興について

2 芳賀 潤 議員
P9

- ①第9次大槌町総合計画と復興10年の課題について
- ②産業施策について
- ③コロナ禍における福祉分野の対応策について

3 曽澤良一 議員
P10

- ①公共施設の維持管理について
- ②(仮称)鎮魂の森の計画について
- ③ブルーカーボンオフセットの推進について

4 東梅康悦 議員
P11

- ①住宅関連事業について
- ②新型コロナウイルス感染症対策について

5 菊池忠彦 議員
P12

- ①沢山地区の冠水被害対策について
- ②後期高齢者問題について
- ③コロナ禍における観光振興策について

6 阿部俊作 議員
P13

- ①まちづくりについて

7 東梅 守 議員
P14

- ①震災伝承事業のあり方について
- ②伝承のあり方について

8 佐々木慶一議員
P15

- ①中央公民館各分館を中心とした、生涯学習・運動面での施設利用の促進について
- ②新たな町の形を背景とした交通インフラの改善について

※9月定例会の会議録は、11月下旬（予定）に町のホームページに掲載されます。
<https://www.town.otsuchi.iwate.jp/gyosei/docs/433970.html>

コロナ禍における福祉分野の対応策は

県の関係機関と協議し個別に対応する



芳賀 潤 議員

(仮称) 鎮魂の森の整備について

産業振興について

コロナ禍における福祉分野の対応策について

【問】(仮称) 鎮魂の森の整備に取りかかるときには、町民が思うもの、町が描いているものとかけ離れないよう、今一度整理す

川水門右岸側から小鎌河川水門に向かう防潮堤付近と、県道吉里吉里釜石線が接する防災集団移転促進事業の移転元地、約1・4ヘクタールを計画地としている。整備規模

が将来の維持管理に関するわってくるため、今後、十分な検討を行う。整備費用は、「災害の記憶を風化させない事業基金」をベースにその他の財源についても検討を進める。

【答】(平野町長)

「岩手大槌サーキモン」と「大槌ジビエ」の今後の課題と磯焼け対策の今後の展開について伺う。

【問】釜石管内あるいは当町に感染者が確認された場合、福祉分野においては、サービスを受ける側、提供する側、それを支えている家族等、影響は多方面にわたるものと認識しているが、町としてどう対応するべきか伺う。

【答】(平野町長)

【答】(平野町長)

現在の当局の考え方や方針性について、次の点について伺う。

①場所・規模・財源及び維持管理などの将来負担

②震災伝承（忘れない・備える・伝える）との関係性

③計画決定時期について

【答】(平野町長)

現在は基本設計に向けて取り組んでいる。

【答】(平野町長)

家族の一員が感染した場合の残された家族の支援が全国的に問題として挙げられており、その形態は多様である。このことから、町内で同様の案件が発生した場合の対応については、常に検討を重ねている。しかし、その対応案件が多岐にわたりることや支援する側の体制も整える必要がある

【答】(平野町長)

整備の場所は、大槌河口で構成させる。

現在は基本設計に向けた取り組みで、磯焼け対策は、次年度以降、藻場再生及びウニの養殖などを視野に入れた事業化の検討を進めたいと考えている。

いずれの事業についても、町民の所得向上のために整備を進めた「おおつち地場産業活性化センター」を活用していただきながら、継続した支援を行っていく。

【答】(平野町長)

これまで、介護分野については、常に検討を重ねている。しかし、その対応案件が多岐にわたりることや支援する側の体制も整える必要がある

ことなどから、県等の関係機関と協議の上、個別に対応していく。

また、感染状況のレベルに応じた対応策等については、介護保険事業所にアンケート調査を実施し把握に努めており、仮に感染者が発生した場合、釜石保健所や町への状況報告等により、常に現状把握するものである。

各福祉分野における情報共有については、厚生労働省より新型コロナウイルス感染症が発生した場合等の対応について、社会福祉施設等・保育所・障がい者支援施設等の事業ごとに示されている。

【答】(平野町長)

介護分野については、サービスを必要としている被保険者やその家族に不便をかけることのないよう、また、介護に従事している事業所職員の安全確保は、関係法令や国・県の制度を活用して可能な限り対応していく。

国や県の各種情報については、速やかに情報提供を行っている。

木造住宅耐震診断の実施を

来年度より再開実施する



東梅康悅議員

震災後、復興優先のため、町の事業として取り組めなかつた耐震診断事業を再開すべきと考える業が見解を伺う。

問 震災後、住宅メー
カーや町内工務店により
多くの家が建設されてき
たが、それもピークを過
ぎ町内工務店の仕事量も
大分下火となってきた。
建築工事を依頼する方
また、依頼を受ける町内
工務店にも支援となる対

先の臨時会において、
地元業者を下支えするた
め、住宅建設等促進事業
補助金の予算を承認して
いただいた。

【答】（平野町長）
代替案での給付ではなく、出産や子育てに係るるべきと考えるが見解を伺う。

【答】（平野町長）
感染の長期化を見据え、
国に支援を働きかけると
ともに、国からの臨時交
付金の限度額に関わらず、
新型コロナウイルス感染

【問】現在、県及び各自治体で昭和56年以前に建築された木造住宅の耐震診断を実施する事業を行つており、県内33の自治体の中で多くの自治体が実施している。

震災後、復興優先のため、町の事業として取り組めなかつた耐震診断事業を再開すべきと考えるが見解を伺う。

【問い合わせ】 大経営企画株式会社 担当者 (TEL: 03-6212-8711)

地元建設業応援補助金

【問】 特別定額給付金は、一人当たり10万円の給付であり、今年4月27日の出生で給付が線引きされている。期日を定めて事業を実施することは他の事業でも採用されており理解できるが、コロナ禍での出産及び育児には平時の場合と異なる。代替の対策で4月28日以降

【問】今後のコロナ禍での支援策、経済対策について伺う。



地元建設業応援補助金

住宅関連事業について

新型コロナウイル 染症対策について

査の全額免除のほか、周産期医療機関への交通費助成制度の取組も展開していく。

い。
本事業は、地元建築業者の施工による新築・増改築に対する補助により地元業者による工事を誘導するものである。9月1日より補助金制度を実施しており、今後、広く町民の皆様や地元建築事業者等に周知していくた

り出産における妊娠婦の健康診査費用の全額を助成しているほか、特定不妊治療費助成の嵩上げ補助の取組を進めている。さらには、紙おむつの支給事業、新生児聴覚検

緊急度を見極め、引き続き町独自の緊急対策を考えていくたい。





菊池忠彦議員

沢山地区の冠水被害対策は

根本的な部分も含めて検討していく

沢山地区の冠水対策について

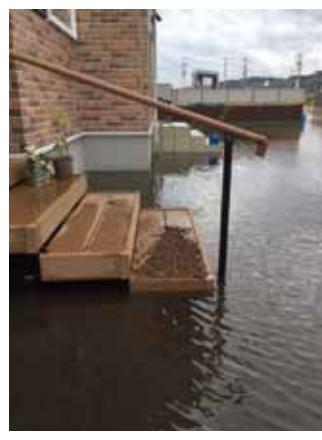
【問】沢山地内の町道大槌学園線は、大雨のたびに土砂流入の被害が発生している。この路線は通学路でもあり、避難所に向かう経路にもなっており、安全の確保は喫緊の課題であると認識しているが、その対策等の見解を伺う。

【答】（平野町長）
冠水被害の原因として、公共下水道雨水排水路として整備したボックスカルバートの入り口部に設置したスクリーンに、上流部からの流木等が堆積し、通水断面を阻害し越流したことが主な要因と

認識している。そのため越流対策として、スクリーンの一部改良と排水路側壁のかさ上げ工事を実施し、さらなる対策として本年度、沢山沢川の上流部にも流木対策工事をとしてスクリーンの設置を実施する。

【問】沢山防集団地の冠水被害が一昨年、昨年と相次いで起きている。その最大の要因は側溝が雨水を飲みきれずに逆流するなど、地域全体の排水設備の弱さにあると推測するが、見解を伺う。

【答】（那須環境整備課長）
この地域は、震災復興交付金の効果促進事業の



認識している。そのため進課が内水対策事業を行った。雨水対策量の計算、周辺の用水路などの整備状況を見ても、現段階では問題ないと認識している。

【答】（平野町長）
現状を踏まえて、しっかりした調査も必要だと思う。施策として打ち出しているが、それだけでは不十分ということであれば、根本的な部分も含めて検討していく。

【問】本来、防集団地は安全を担保されているべき土地にもかかわらず、一昨年、昨年と冠水被害に悩まされ、少し強い雨が降つただけで側溝から水があふれ出すと住民は訴えている。早期に調査をし、対策・改善に取り組むべきと考えるが、見解を伺う。

【答】（平野町長）
後期高齢者問題について

【答】（平野町長）
町としてはこれまで高齢者の尊厳の保持と自立支援の目的のもと「住まい・医療・介護・予防・生活支援」が一体的に提供できるように取り組んできた。今後も引き続き、全ての町民が健康で住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、切れ目のない取組を継続していくことが重要であると考えている。

【答】（太田町民課長）
特定検診の受診に際し、町内各地区に受診会場を設置して休日の受診にも対応しているが、なかなかか受診率向上につながらない現状である。

赤浜観光船乗り上げ建物保存を

実現見通しが立たない



阿部俊作議員

まちづくりについて

【問】大槌の魅力と文化・歴史遺産などの活用について尋ねる。

【答】(平野町長)
歴史は、活用として様々な方法がある。観光やふるさと科の学びなどを含め取り組んでいる。歴史を基盤とした政策を展開している。

【問】産業振興において道路網の整備は欠かせない。県道26号線のトンネル化について、土坂峠トンネル化推進室の近況と業務内容を尋ねる。

【答】(平野町長)

主要地方道紫波江繫線及び大槌小国線の高規格道路整備の実現に向けて結成している「大槌山田紫波線道路整備促進期成同盟会」では、国や県の要望活動・看板の設置・要望活動概要書の作成などを行っている。

町の単独要望も実施する。

【問】きらり商店街の跡地に道の駅構想があった。そこ北側に挾田館の遺跡があり、説明版を立てなったのか伺う。

【答】(平野町長)



挾田館の標柱

のみではなく活用が大事で、まちづくりの根幹を成すものと考える。

過去・現在・未

来、先人の歴史、この町の気候風土などをよく知り活

用すれば快適な町

がつくれる。

私たちが受けた災害も(先人の人々が伝えようとした災害も)未来

の人たちに伝える

のみではなく活用が大事で、まちづくりの根幹を成すものと考える。
は、「災害の記憶を風化させない事業基金」条例を制定し、震災の記憶を未来永劫の継承を目的に寄附金を募り事業化を目指したが、平成27年の事業見直しにおいて(解体)の判断をした。

はまゆり復元保存会には、復元以外の震災伝承のあり方に理解を求めてきた。

【答】(沼田教育長)
3月定例会での答弁は

【問】標柱1基では何のか分からぬと思うがいかがか。

【答】(平野町長)

観光船の復元については、「災害の記憶を風化させない事業基金」条例を制定し、震災の記憶を未来永劫の継承を目的に寄附金を募り事業化を目指したが、平成27年の事業見直しにおいて(解体)の判断をした。

はまゆり復元保存会には、復元以外の震災伝承のあり方に理解を求めてきた。

【問】標柱1基では何のか分からぬと思うがいかがか。

【答】(北田副町長)
今後、どのように活用するか、歴史の伝え方を考え、この先、具体的に情報発信をしていく。

【問】遺跡・遺構は保存

【答】(北田副町長)
今後、どのように活用するか、歴史の伝え方を考え、この先、具体的に情報発信をしていく。



対岸からの赤浜集落



東梅守議員

震災伝承はいかに？

今後、明らかにしていく

震災伝承事業のあり方について

求め進める」ととした。

か見解を伺う。

伝承のあり方について

【問】「災害の記憶を風化させない事業基金条例」

条例改正は保存会の同意を得た上で進めていく

意を得た上で進めていく
の第1条に、「東日本大震災津波による犠牲者の鎮魂及び災害を未来永劫に継承していくため、基金を設置」とあるが、今回

の後退的改正は、それ

によって生じるであろう、

町の被る損失をどう補填

するのか尋ねる。

【問】27年度に行われた事業見直しが示され、「旧民宿あかぶ」の保存処理経費には4億円以上かかるとされているが、その根拠が示されていない。経費の算定根拠と経緯を伺う。

【答】（平野町長）

平成27年11月に公表した事業見直しにより、復元事業には当時の寄附状況と町で試算した復元費用をもって事業検証した。結果として実現の見通しが立たないことなどが寄附範囲内での規模縮小への見直しと、今後の進め方を関係者に理解を

【答】（平野町長）
翌年12月に事業の検証結果と復元事業は困難である旨を保存会の代表者や関係者に伝え、条例改正案を含め理解を求めるとともに協議を続けていくこととしている。

【答】（平野町長）
示すべきと考えるが見解を伺う。

【答】（平野町長）
条例は平成24年6月に制定しており、（仮称）鎮魂の森整備の事業費用と、観光船復元の事業費用の財源とするための寄附金を募っている。

【答】（平野町長）
寄附者への説明について何らかの方法で意思表示していく。

【答】（北田副町長）
の基本コンセプト「忘れないと」「伝える」「備える」構想を現在も検討している。今後、明らかにし

ていただきたい。



観光船はまゆりと建物（H23 当時）

交通弱者の移動手段は

各種交通手段の中でタクシーも含め検討する



佐々木慶一議員

生涯学習・運動面での施設利用の促進について

〔答〕（沼田教育長）
おしゃつちは年間3万人、中央公民館各分館は年間1万6千人の方が利用している。特に吉里吉里公民館は、昨年1万人の利用がある。

レーボールやバトミントン等の軽スポーツがでてくるよう、ラインを引いてコートを作った。2階のホールは、運動器具を活用したスペースとしても使用できるよう検討す

【問】赤浜公民館や安渡公民館の活用促進策は。

野の「医療地区」、安渡等の「産業集積地区」、その他各地の「居住地区」等機能分散した町となつた大槌町内の各エリアを行き来する交通インフラの整備は。

新たな町の形を背景とした交通インフラの改善について

は安価であるが、利用時間に制約がある上、バス停間でしか利用できない高齢者や障がいを持つた人の移動を考えると、自家からバス停までの移動及びバス停から目的地までの移動が大変である。代替交通手段の検討は。

【問】岩手県交通ダイヤとの重複回避や、町民バス路線の見直し（代替手段として、安価なタクシー利用補助）等により、バス運行だけでなくタクシー運行も含めた、町民の移動利便性を考慮した補助制度の見直しが必要

生涯学習・運動面での施設利用の促進について

【答】（沿田教育長）



利用者が多い吉田吉田公民館

持続可能な公共交通網を形成する必要があることから、計画的に取り組んでいく。

【答】（藤原企画財政課長）タクシーを利用した「デマンド運行（バス停もしくは自宅から目的地まで



無乗車運行が目につく町民バス

〔答〕（藤原企画財政課長）



表紙写真とタイトル



表紙の写真是、10月
6日、大ヶ口保育園の
園児さんと議員の方々
との交流会の様子です。
3日前には運動会が
開催され、行事を成功
させて一回り大きく成
長した園児さんたちと
交流してきました。
手品に興味津々で、
積極的に手を挙げて参
加をしてくれました。
これから寒くなりま
すが皆さん元気に過ご
してくださいね。



今回の表紙タイトル
「おおづち」は、大ヶ口保
育園の谷藤隆暉さん（5
歳）に書いていただきま
した。
どんなことを思いなが
ら描いてくれたのか伺
いました。

Q どんな気持ちで書き
ましたか。
A ちゃんときれいに書
きたいと思いました。
秋の果物や花を考えな
がら書きました。



ブドウやリンゴ、コ
スモスなど、秋を感じ
させる上手な作品で、
一つだけ選ぶのが難し
かったです。
皆さんありがとうございます。

タイトルは次の4名
の方にも書いていただ
きました。
八重樫凌憂さん（6歳）
阿部瑛大さん（5歳）
阿部想士さん（5歳）
阿部和さん（6歳）



▼全国各地で記録的な猛暑
が相次いだ夏が過ぎ、秋の
深まりを感じているこの頃
です。新型コロナウイルス
感染症が収束しない中、新
しい内閣が誕生しました。
国民の期待感の表れから高
い支持率となっていますが、
コロナ対策と経済の立て直
しを確実に実行することが
期待に応えることと誰もが
思っております。
県内では先日、新型コロ
ナウイルスの感染が確認さ
れ入院していた患者さんが
全て退院し、その後新たな
発生はないという記事があ
りました。今後も、感染症
対策を自己責任の元に徹底
し、ウィズコロナ、ポスト
コロナの時代を迎えていたいも
のです。
(阿部 義正)

委員会報編集特別委員会
委員長 阿部 俊作
委員 副委員長 菊池 忠彦
委員 及川 伸義正
委員 佐々木慶一
委員 阿部 三平

編集後記